

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

火山学」フィールドワーク

「みらい学Ⅰ」で学習してきた「火山学」の理解を深めるために、十月二十七日(土)に福知山市夜久野町の玄武岩公園と、京都府唯一の火山である第四紀火山である田倉山(壱山)へフィールドワークに行ってきました。

当日は、あいにく雨が降っていましたが、文理科学科の生徒諸君は元気にバスに乗り込み、夜久野町へと向かいました。今回の「火山学」の学習をするまでは、生徒の多くは福知山市に火山があったことを知っていませんでしたが、本校理科教諭の小滝篤夫先生から玄武岩公園の柱状節理 流れ出た溶岩が



ゆっくり冷えて固まるときに縦向きに割れ目が入り、五角形や六角形の柱状の岩になったものはおおよそ三十七万年前に田倉山火山が噴火して流れ出た「小倉溶岩」と呼ばれるものである。」と教わり、田倉山が火山であると理解することができました。

その後、兵庫県との県境の田倉山に登りました。現在の田倉山は緑の木々に覆われ、火口も浸食されており、火山の面影はありませんでしたが、登山道にはスコリア 噴火のときに飛び出したマグマのしぶきが固まった茶褐色の軽石)がいくつも落ちており、田倉山が火山であったことを確認しました。

生徒の声

実際に火山を見たのは初めてでした。火口の地形を見たり、現地でスコリアや玄武岩を採集することができて良かったです。本などで調べるだけではなく、実際に見たり触れたりすると色々なことがよく分かるということを感じました。

日新中学校出身)

研究発表会

「みらい学Ⅰ」の第三弾として取り組んできた「火山学」の研究発表会を十一月二日(金)に開催しました。六つの班に分かれて研究した内容をポスターセッション方式で発表しました。



それぞれの班が研究したテーマは、

- ・ CO₂ の過去・現在・未来
- ・ 火山の分布とその原因
- ・ 地球は火山が作った
- ・ 近畿地方の火山
- ・ 火山噴火の予知と減災
- ・ 日本の火山分布

で、どの班も意欲的に調べた研究発表で素晴らしいものでした。担当の小滝先生からも講評において 全部の班が深く研究しており、しっかりとした発表であった。」と褒めていただきました。

綾部中学校出身)

生徒の声

「火山学」の研究は結構楽しかったです。プレートやホットスポットなど、それまでも言葉では知っていた事柄も詳しく理解することができました。発表会はうまくいくか不安でしたが、他の班の発表に負けな発表ができたと思います。それぞれの班が別々のテーマを調べて発表することは、自分たちが調べなかったことも知ることができて良かったと思います。

日新中学校出身)

僕達の班は北海道の有珠山の噴火予知について色々な本を読んで調べました。その結果、有珠山の噴火の時にはたくさんの人々が協力して行動したことで犠牲者を出さなかったことを知りました。僕はこの学習をするまでは、噴火予知という学問分野があることも知りませんでした。そして、災害も科学の力だけである程度は何とかなると思っていました。しかし、人々の努力と協力があったからこそ、減災ができるのだということが分かりました。